

令和5年度浜松市立三ヶ日東小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策は、別紙のとおり

2 学校関係者評価

1月25日（木）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・子供たちは素直で明るい。授業中、自分の考えを率先して説明する場面があり、そのような活動が多いのがよかった。
- ・学校へ行くのが楽しいと言っているが一番よい。欲を言えば100%にしたい。楽しい学校行事がたくさんあり、いろいろな体験活動ができるのも要因だと思う。これからも体験の場を多くして行ってほしい。
- ・学校行事等で、いろいろなことを決める時、大人ではなく子供に聞いて決めているのが共感できる。何事にも主体性をもたせてくださっている指導がよい。
- ・子供たちが落ち着いた雰囲気の前向きに学習しているのは、先生方が興味を持つような題材を設定しているからだと思う。さらに、サポーターの活用がよかったと先生方が思ってくさっていることがうれしい。人材活用の素地ができており、親子防災活動など外部人材を取り入れた活動は、来年度も続けていきたい。
- ・子供たちが前向きに楽しい授業を行うと、家でこんなことがあったと保護者に話す。それを聞くと保護者が安心する。子供と教師の人間関係が親子関係も良くする。楽しい授業づくりをこれからも続けてほしい。
- ・家庭学習の時間の確保については、どの学校でも難しい。懇談会等で保護者からも家庭学習にどんなことをやっているか聞くのも良い。家庭学習については、低学年で型を教え、3年生ぐらいから自分で選んで自主的にやるというのでよいと思う。
- ・体力面について、外で体をつくるために遊ぶのは難しい。体操教室やスポーツ少年団などとの連携を大事にしたい。地域スポーツの在り方を考え、子供のスポーツする機会をどう確保していくのが課題である。
- ・悩みがあったら担任に話すが一番良いと思うが、話にくい場合は、誰に言ってもよい事を周知し、子供が気楽に学校の先生に相談できるようにしていく。
- ・年度始めに確認した「いじめ防止基本方針」に沿って、学校として組織的に対応していることがよいと感じる。いじめ認知件数が増えたようだが、一度こじれると小さな学校では修復が難しい。内容や経過を次の人に伝えていくシステムを作っていくことが大事である。中学で再発することもある。申し送りや引継ぎをしっかりとっていく。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・今後も楽しい学校づくりのために、子供が主体的に学ぶことのできる授業づくりや、地域の方やサポーター等、人材を活用した活動の充実を図っていく。
- ・悩みや困ったことがあった時に気軽に相談できる雰囲気づくりや、トラブルがあった時の経過をしっかりと伝えていくためのシステムづくりを充実させていく。

令和5年度 学校評価アンケート結果

松小111 浜松市立三ヶ日東小学校

本校では、目指す子供像を「思いやりの心と健やかな体で学び続ける、活力ある三ヶ日東の子」とし、予測困難な令和の時代を生き抜く子供たちの育成を目指している。この「活力ある子」の育成を具現化するために「知・徳・体」のバランスのとれた重点目標を設定し、学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」を育てていきたいと考えた。そこで、「思いやる子」「進んで学ぶ子」「健やかな子」の重点目標を中心に令和5年度の自己評価目標を設定した。また、「学校いじめ防止基本方針」に関連した生徒指導に関わる評価についても追加し、保護者10項目、児童20項目をアンケートにより回答していただいた。

今回の結果を基に、教育環境や指導方法の改善を図り、学校教育目標の実現に向かって、教職員一同、心を一つにして児童の育成に努めていきたいと考える。

児童アンケートより

- 96%の児童が、学校に行くのは楽しいと考えている。また、97%の児童が授業は分かりやすく楽しいと答えている。ほとんどの項目で90%を超えており、落ち着いて充実した学校生活を送ることができている児童が多いと言える。
- △ 肯定的な意見が90%の割合を超えていない項目が1つだけある。毎日「10×学年+10分」の家庭学習ができているかという項目である。本年度は、家庭学習の取り組み方や内容を低・中・高学年でまとめ、意識付けを行った。内容を重視した分、学習時間への意識が低下してしまったと思われる。

保護者アンケートより

- 教科担任制については、90%以上の肯定的な評価をいただいた。また、人が困っている時に助けているか、子供の困り感を感じ取り、学校や担任に相談しているか、学校行事への参加等を通して学校理解に努めているかという項目についても高い評価をいただいた。子供は人とのつながりを大切にしていると考えていることや学校行事等に積極的に参加し、学校のことを知ろうとしてくださっていることにより、学校の教育活動や運営を肯定的に評価していただいていると言える。
- △ 80%の割合を超えていない項目が2つある。子供は学習に粘り強く取り組んでいるかという項目と子供は外で元気に遊んだり体力づくりに取り組んだりしているかという項目である。子供の学習面や体力面についてやや不安に思っているのではないかとと思われる。

教職員アンケートより

- 学校の教育活動や運営について、おおむね肯定的にとらえている。本校の強みは、子供が素直で保護者や地域が協力的であることと回答している割合が高い。
- △ 本校の弱みについては、少人数のため人間関係が固定化してしまうこと、自主性に欠け心が弱い子供が多いという回答が多かった。学習面に関しても粘り強さや最後までやり抜く力に欠ける子供がいるとの回答が多かった。

いじめ防止基本方針に基づく内容より

- 昨年度の児童アンケートでは、困ったことや悩みがある時に相談できるかという項目が90%を下回っていた。しかし、本年度は、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うという項目に98%、困ったことや悩みがある時に相談できるという項目に91%の肯定的な意見が見られた。教員への質問事項である「子供と関わり、観察や個人面談をいじめの発見につなげること」については、全職員が「できている」と回答している。これまでの日頃の児童観察に加え、学級担任が全児童との個々面談を実施し一人一人と向き合う時間が確保されていることで、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりにつながっていると考える。
- △ いじめ未然防止のために、いじめの防止等に関する取り組みの年間活動計画の中で、児童会活動や学級活動の話合い活動として、思いやりや良好な人間関係作りについて考える時間をもう少し増やしていくとよいという意見が出た。

成果について

児童や保護者、教職員の生活面や学習面に関する回答から、充実した学校生活を送っていることがうかがわれる。また、本年度計画している学校行事等の教育課程は、計画通りすべて行うことができている。子供たちや保護者、地域の方が満足のいく学校行事になるよう改善を図ったり、サポーター等の外部人材を多く活用した活動を行ったりすることで、楽しい学校づくりへの取り組みを行ったことを高く評価してくださっていることが分かる。

課題、改善策について

課題については、家庭学習の充実、粘り強い学習への取り組み、外遊びや体力づくりの充実が挙げられる。家庭学習については、児童、保護者とも物足りなさを感じている割合が高いので、何のために学習をするのかというガイダンスも含めて、家庭学習の取り組み方について改めて考え、児童、保護者に周知・徹底を図っていききたい。また、粘り強い学習態度の育成については、研修の内容とも連携し充実を図っていききたいと考える。外遊びや体力づくりの充実については、これまで以上に学校での外遊びを推奨し、自ら進んで体を動かせるような声掛けをしていきたい。

いじめ防止基本方針に基づき、「いじめ見逃し0」「いじめ未然防止」をより組織的かつ効率的に機能させていくために、来年度以降の改善点として、事実を聞き取り、記録に残すことについての改善が必要であるという意見が出た。いじめ対応の手引きの「聞き取りメモ」の活用を全職員で確認し、5W1Hを含めた明確な事実の記録の徹底を図っていききたい。

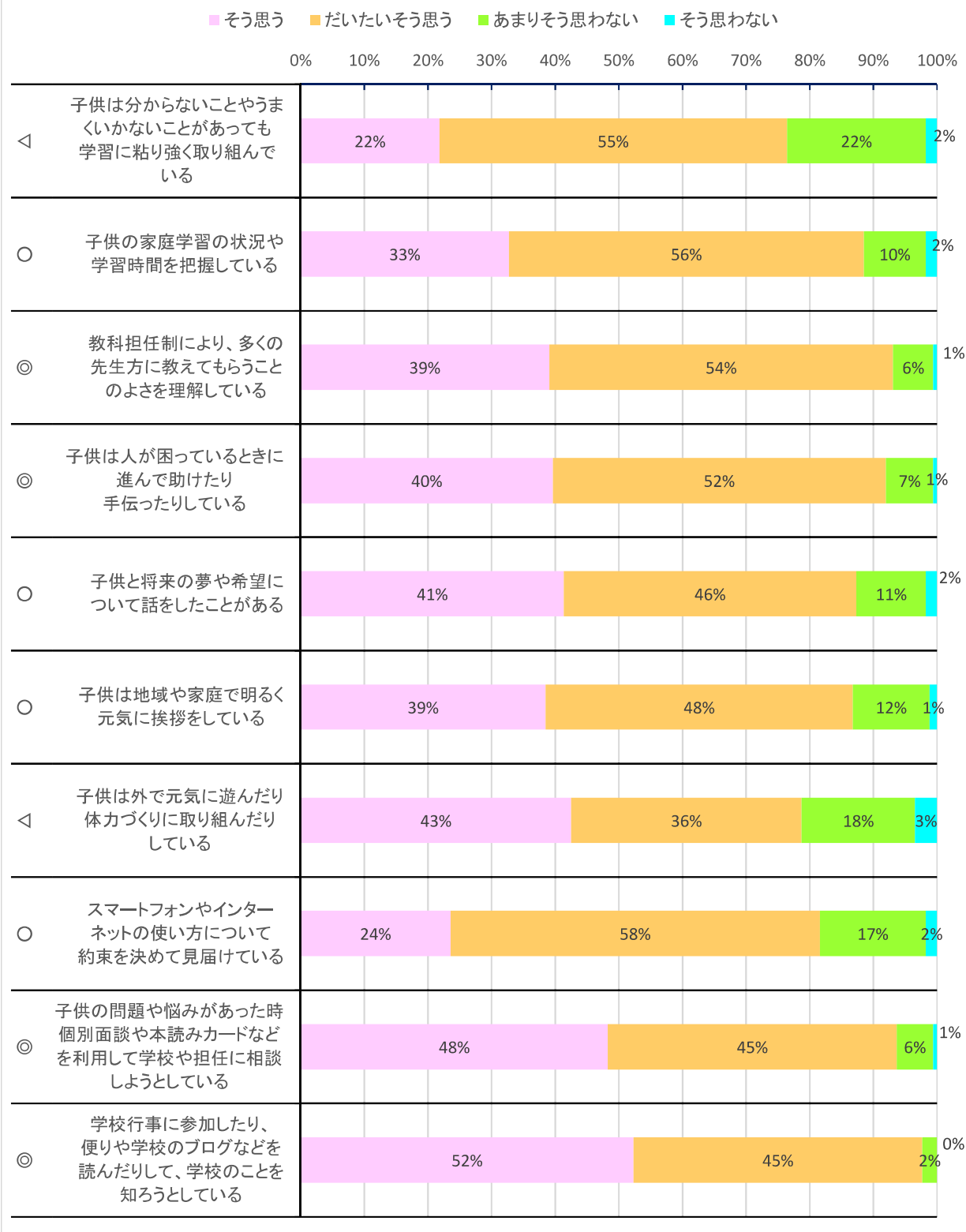
学校教育目標実現のために「知・徳・体」のバランスの取れた目標設定の重要性に改めて気づくことができた。キャリア教育でつきたい力を子供たちに意識させ、学習や活動の価値づけを大切にしていくことはもちろん、保護者や地域の方が子供のために動きやすく、ともによりよい学校教育を創っていくために、開かれた三ヶ日東小を目指し、持続発展するCS活動や学校からの情報発信の仕方についても工夫していききたい。

自己評価結果

肯定的な評価とは、各設問に対する回答が「そう思う」「だいたいそう思う」の合計。成果を各設問の左に記号で示した。

肯定的な評価が90%以上	◎	肯定的な評価が70%以上	△
肯定的な評価が80%以上	○	肯定的な評価が70%未満	×

令和5年度 保護者 学校評価アンケート集計結果



令和5年度 児童 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う
 ■ 大体そう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

